

わかくさ

入園・入学おめでとうございます



なかいまっち

入学式・
入園式

園児や児童に一つ上の子どもたちからの「明日から仲良くしようね」という動画を使った呼びかけは、とても心に残るものでした。

中学校では、生徒会長から温かい歓迎の言葉や新入生の新しい世界に向かうたくましい言葉がありました。



なかいこども園(11名)



中村小学校(15名)



中井中学校(50名)



井ノ口小学校(24名)

子どものスマホデビュー、年度初めのルール作りが大切！

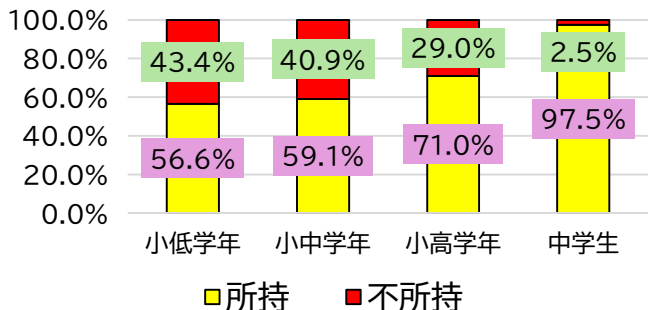
進級や入学を機に自分のスマートフォンを持ち始める子が多いようです。この機会に、スマートフォンやSNSの使い方について考えてみましょう。



令和7年度の中井町
の子どもの状況・

調査期間 ⇒ 令和7年10/17(金)~23日(木)の1週間
調査対象 ⇒ 小学生・中学生全員(小学生308、中学生179)

携帯電話・スマートフォンの所持



年々、携帯電話・スマートフォンを所持している児童生徒が増加しています。中井町の小学5・6年生は約71%、中学生では約98%が所持しています。

スマホ等の急速な普及により、SNSを利用する時間も年々増えています。

令和8年初頭から、全国各地の中学校や高校で生徒が別の生徒に暴行を加える様子を撮影した動画がSNSで拡散される事件が相次いで発生しています。そこで、教育委員会の取組を裏面で紹介しSNSについて考えていきます。

調査期間中にSNSを使った一日の平均時間(単位は分)

学 年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
SNSの時間(分)	13.2	33.3	6.0	49.1	29.3	41.9	51.0	64.1	57.8

※全国の小中学生のSNSの利用時間は増加傾向にあり、特に中学生は長時間化しています。1日平均72分で、女子の6割男子の4割が1日2時間以上利用しています。小学生は1日平均24分です。

(出典:R8・NTTドコモモバイル社会研究所)

今年1月、ある高校の生徒が複数の生徒に取り囲まれ、一方的に殴られたり蹴られたりする様子が映っている動画が、SNS上に投稿・拡散されたという事件がありました。



中井町では、ネットいじめの報告は今のところありませんが、本町でも重篤ないじめは起こりうるという緊張感を持ち、未然防止・早期対応に努めなくてはならないと考えています。教育委員会では、このことについて、小学校3年生から中学3年生に自分の意見を書いてもらいました。

【中学生に向けて】

最近、高校生による暴行の様子がスマートフォンで撮影・拡散されるというニュースがありました。実際にその動画を目にした人がいるかもしれません。あなたは、このニュースをどのように受け止めましたか。

「自分には関係ない」「ありえない」と他人事でいられるでしょうか。

それとも、こうした暴力行為そのものに対して、憤りや違和感を覚えたでしょうか。

この問題をどう捉え、自分はどう行動したいか。今のあなたの言葉で、この問題に向き合ってみてください。

【中学生の思い】抜粋です。

・何でそんなことをするんだろう？加害者に対する怒りを抱いた。ただ、同じ10代として、まったく自分には関係ないと切り捨てることはできない自分がある。なぐる、けるなどの行為をカッコいいと勘違いをしている人は私のまわりにもいるからだ。また、SNSでバズることに喜びを感じる人も少なくないと思う。「誰かを傷つけるようなことはしない」子どもの頃に教わったことだけど、その分別がつけられなくなってしまっているのだと思う。・私は声をあげられる人になりたい。みんなが幸せを感じられたら、暴行なんてしないはずだ。

・暴行をするのがまずおかしいけれど、それを撮影して拡散されるとか考えずにネットにあげているのがおかしい。自分が被害者だったら、嫌なことなのに。被害者の気持ちを考えないといけない。

【小学生に向けて】

最近、ある学校で、友だちをたたいたり、その様子を動画でさつえいしたりする悲しいニュースがありました。やっている人は「あそびだった」と言っていたそうです。

いやなきもちになったりケガをしたりしてもそれは「あそび」といえるのでしょうか。あなたは、「いじめ」や「ぼうりょく」をして、だれかをいやな気持ちにさせていませんか？あなたは、「いじめ」や「ぼうりょく」をしている人を見たとき、どうしますか？自分のみのまわりのことにおきかえて、考えたことを書いてください。

【小学生の思い】抜粋です。

・「いじめ」や「ぼうりょく」をしている人を見たら、ちよくせつは言わないで先生に言ってとめてもらおう。先生がいなかったら、ちよくせつ言っていじめられている子によりそってあげる。その人の気持ちをしっかり考えてそれにあつた言葉をかける。いじめられた子はすごく悲しいからです。

・少しふざけただけで動画やメールを送っただけで、他人や地域の人にまでめいわくがかかって、大事になるかもしれないから、本当の事だけをみんなに教えようと思いました。SNSは、だれが送ったか、電話番号なども分かっちゃうから自分のこととSNSの特性を分かってから気を付けて使おうと思った。



拡散をしないために！

- ①一度投稿した内容は半永久的に残り、削除できないことを理解しておく
- ②個人情報や他人の情報を含む内容は投稿しない
- ③友だちにも無断で情報を共有しないよう伝える
- ④画像や動画の扱いには特に注意する
写真や動画は拡散しやすいので、だれが写っているのか、どんな場所なのか考えて判断する

子どものスマホ使用を考えるポイント

入学や進級の時期は子ども同士の交流が活発になる時期です。親が使い方を一方的に制限すると、隠れて使うようになってしまいかねません。

- ①今回の事件を話題にするなどしながら、スマホの利用ルール(場所・時間・マナー)を話し合う
- ②ルールは子どもが決められるようにする。難しい場合は、選択肢や案を示したりする
- ③啓発リーフレットを活用し危険なことを確認する

●5月定例教育委員会

日時 5月26日(火) 16:00～
場所 改善センター

2階研修室

